

経営比較分析表（令和2年度決算）

神奈川県相模原市 相模大野駅西側自動車駐車場

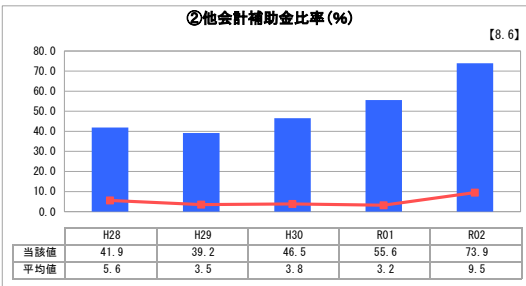
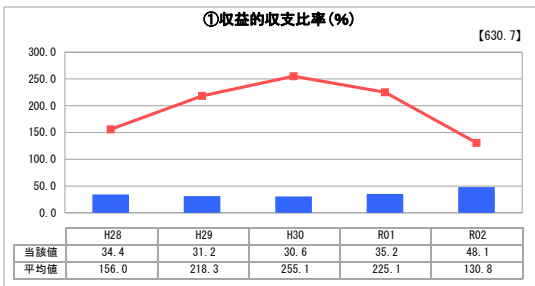
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A1B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	立体式	8	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	有	25,638
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
749	300	代行制

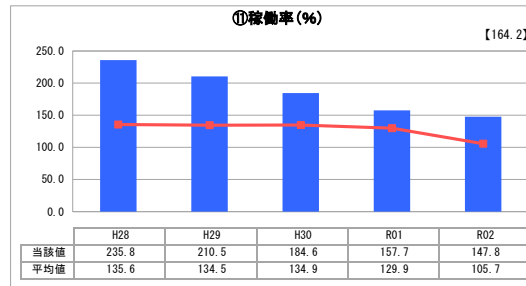
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



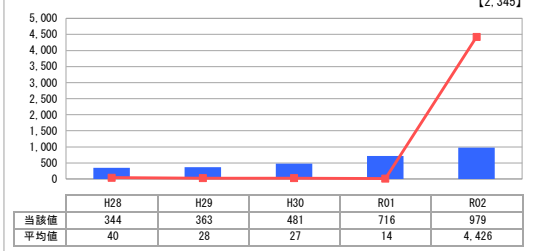
分析欄

1. 収益等の状況について
 本駐車場は、通行量が多い地区で円滑な道路交通を確保するため、平成25年3月より供用開始しました。
 駐車場の料金収入等で支出をどの程度賄えているかを示す収益的収支比率(%)は、赤字となっており、償還が終了する令和14年度までの状況が続くことが見込まれます。
 また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により駐車料金収入が大幅に減少したため、補助金比率は上がっています。

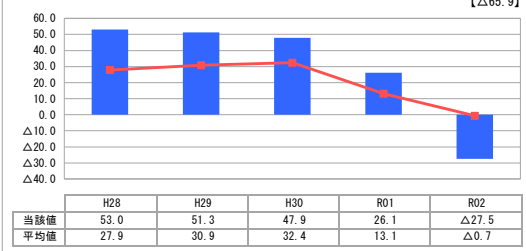
2. 資産等の状況について
 駐車場建設費の償還は令和14年度に完了する予定です。商業施設との複合施設のため、大規模修繕は管理組合が実施しますが、今後管理組合で行う修繕費と施設内設備投資を見込む必要があります。

3. 利用の状況について
 オープン以後、店内のリニューアルによる一部店舗閉鎖期間や、隣接商業施設の駐車料金サービスの変更等により、稼働率は減少し続けています。また令和2年度は、新型コロナウイルス感染症流行の影響により、外出を取りやめる、買物等を短時間で済ませる、テレワークに変わるなど、利用状況に変化があったため、さらに減少したものと考えています。

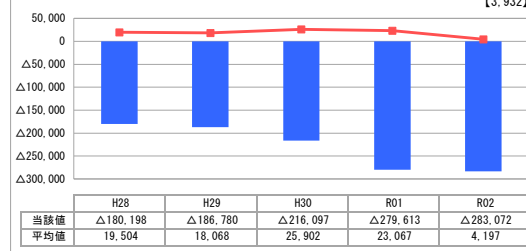
③駐車台数一台当たりの他会計補助金額(円)



④売上高GOP比率(%)

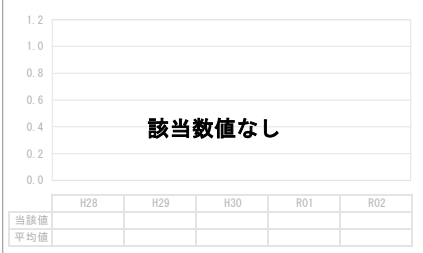


⑤EBITDA(千円)



2. 資産等の状況

⑥有形固定資産減価償却率(%)



⑦敷地の地価(千円)

0

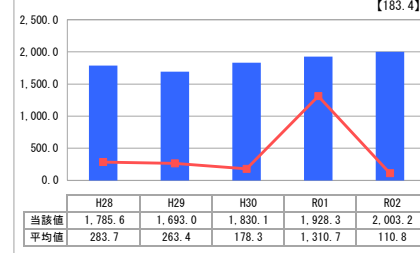
⑧設備投資見込額(千円)

0

⑨累積欠損金比率(%)



⑩企業債残高対料金収入比率(%)



全体総括

相模大野駐車場整備地区内に3つある都市計画駐車場のうちの1つであり、一定数の利用があることから、今後も都市計画駐車場として存続させる必要があると考えています。ただし、稼働率が減少傾向にあることを鑑み、運営方法等については検討をしていきます。